

公募シンポジウム | 第40回医療情報学連合大会（第21回日本医療情報学会学術大会） | 公募シンポジウム

公募シンポジウム5

リアルワールドエビデンスを創出するための臨床中核指定病院ネットワークの取り組み

2020年11月20日(金) 09:00 ～ 11:00 F会場 (イベントホール・特設会場1)

[3-F-1] リアルワールドエビデンスを創出するための臨床中核指定病院ネットワークの取り組み

*中山 雅晴^{1,2}、松木 絵里^{3,4}、山下 暁士⁵、船越 公太⁶、高田 敦史⁷、伊藤 詩歩⁸、坂井 亜紀子⁹、関 倫久¹⁰（1. 東北大学大学院医学系研究科 医学情報学分野, 2. 東北大学病院 メディカルITセンター, 3. 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター, 4. 慶應義塾大学医学部 血液内科, 5. 名古屋大学医学部附属病院 メディカル IT センター, 6. 九州大学病院 ARO 次世代医療センター, 7. 九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター, 8. 東北大学病院 医療情報室 医療情報運用管理係, 9. 大阪大学医学部附属病院医療情報部, 10. 東京大学医学部附属病院 企画情報運営部）

*^{1,2}, Eri Matsuki^{3,4}, Satoshi Yamashita⁵, Kouta Funakoshi⁶, Atsushi Takada⁷, Shiho Itoh⁸, Akiko Sakai⁹, Tomohisa Seki¹⁰（1. 東北大学大学院医学系研究科 医学情報学分野, 2. 東北大学病院 メディカルITセンター, 3. 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター, 4. 慶應義塾大学医学部 血液内科, 5. 名古屋大学医学部附属病院 メディカル IT センター, 6. 九州大学病院 ARO 次世代医療センター, 7. 九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター, 8. 東北大学病院 医療情報室 医療情報運用管理係, 9. 大阪大学医学部附属病院医療情報部, 10. 東京大学医学部附属病院 企画情報運営部）

キーワード：real-world evidence, network, core clinical research hospitals

日本における医療リアルワールドデータの利活用促進を目指し、臨床研究中核病院では2018年度より国立研究開発法人日本医療研究開発機構事業「医療技術実用化総合促進事業」の中で、データ基盤整備およびそれを下支えるための人材育成に取り組んでいる。「クリニカルクエスションをはじめとする広範な課題にリアルワールドエビデンスとして回答できる持続可能な臨床研究基盤の構築を通じ最適な医療の実現に貢献する」をビジョンに掲げ、さらに「（1）高い品質を確保するデータ管理、（2）将来的な拡大を見据えたシステム設計、（3）基盤を維持する自立的なエコシステムの検討・整備、（4）これらを支える人材育成の実施」というミッションを策定している。具体的には、問題解決のためにサブワーキング（SWG）を設置し、データ基盤整備のための SWG1、人材育成を中心とする SWG2、そして SWG 1 における課題をさらに深掘りするために派生した、標準化関連を扱う SWG 3 と、異なる病院情報システムからのデータベリフィケーションを中心とする SWG 4、それぞれが連動して上記ミッションの実現に向けた活動を展開している。本セッションでは、それぞれの SWGが行っていることと成果を、実際にプロジェクトの役割を担っている若手研究者が自身の体験も踏まえ紹介する。

リアルワールドエビデンスを創出するための 臨床中核指定病院ネットワークの取り組み

中山雅晴^{*1,2}、松木絵里^{*3,4}、山下暁士^{*5}、船越公太^{*6}、高田敦史^{*7}、伊藤詩歩^{*8}、坂井亜紀子^{*9}、関 倫久^{*10}

- *1 東北大学大学院医学系研究科 医学情報学分野、
- *2 東北大学病院 メディカル IT センター、
- *3 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター、
- *4 慶應義塾大学医学部 血液内科、
- *5 名古屋大学医学部附属病院 メディカル IT センター、
- *6 九州大学病院 ARO 次世代医療センター、
- *7 九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター、
- *8 東北大学病院 医療情報室 医療情報運用管理係
- *9 大阪大学医学部附属病院医療情報部
- *10 東京大学医学部附属病院 企画情報運営部

The Network Project among Core Clinical Research Hospitals for Real-World Evidence

Masaharu Nakayama ^{*1,2}, Eri Matsuki ^{*3,4}, Satoshi Yamashita ^{*5}, Kouta Funakoshi ^{*6}
Atsushi Takada ^{*7}, Shiho Itoh ^{*8}, Akiko Sakai ^{*9}, Tomohisa Seki ^{*10}

- *1 Medical Informatics, Tohoku University Graduate School of Medicine ,
- *2 Medical Information Technology Center, Tohoku University Hospital,
- *3 Keio University Hospital, Clinical and Translational Research Center,
- *4 Keio University School of Medicine, Division of Hematology,
- *5 Medical IT Center, Nagoya University Hospital,
- *6 Center for Translational and Clinical Research, Kyushu University Hospital,
- *7 Kyushu Univ. Hosp. Medical Information Center,
- *8 Tohoku Univ. Hosp. Medical Information Office
- *9 Division of Medical Informatics, Osaka University Hospital
- *10 Department of Healthcare Information Management, The University of Tokyo Hospital

To promote the utilization of real-world medical data in Japan, since FY2018, core clinical research hospitals have been developing data infrastructure and human resources. Our vision is to "contribute to the realization of optimal medical care through the construction of a sustainable clinical research infrastructure capable of addressing a wide range of issues, including clinical questions, as real-world evidence." Our mission is to (1) study and develop an independent ecosystem to maintain the infrastructure, and (2) implement human resource development to support the infrastructure. In this session, a young researcher who actually plays a role in the project will introduce what each of the projects is doing and their achievements based on his own experiences.

Keywords: real-world evidence, network, core clinical research hospitals

1. 本セッションの趣旨

日本における医療リアルワールドデータの利活用促進を目指す、臨床研究中核病院では 2018 年度より国立研究開発法人日本医療研究開発機構事業「医療技術実用化総合促進事業」の中で、データ基盤整備およびそれを下支えするための人材育成に取り組んでいる。「クリニカルクエストをはじめとする広範な課題にリアルワールドエビデンスとして回答できる持続可能な臨床研究基盤の構築を通じ最適な医療の実現に貢献する」をビジョンに掲げ、さらに「(1) 高い品質を確保するデータ管理、(2) 将来的な拡大を見据えたシステム設計、(3) 基盤を維持する自立的なエコシステムの検討・整備、(4)

これらを支える人材育成の実施」というミッションを策定している。具体的には、問題解決のためにサブワーキング(SWG)を設置し、データ基盤整備のための SWG1、人材育成を中心とする SWG2、そして SWG1 における課題をさらに深掘りするために派生した、標準化関連を扱う SWG3 と、異なる病院情報システムからのデータバリフィケーションを中心とする SWG4、それぞれが連動して上記ミッションの実現に向けた活動を展開している。本セッションでは、それぞれの SWG が行っていることと成果を、実際にプロジェクトの役割を担っている若手研究者が自身の体験も踏まえ紹介する。